

2007 年度

科目名 解剖学	対象学科・学年 薬学部薬学1 回生	担当者 雪村 時人 田中 静吾
授業テーマ ヒトの成り立ち		
授業の概要と目標 人体の基本構造を理解するために、各器官系の構造と機能に関する基本的知識を習得することを目指します。 先ず概論においてヒトの臓器の名称、形態および体内の位置と各臓器の役割分担について概説します。次いで臓器ごとに構造と機能を説明します。		
評価方法 定期試験およびその他（出席など）により評価します。		
テキスト 入門人体解剖学	著者 藤田 恒夫	出版社 南江堂
参考書 スタンダード薬学シリーズ4 生物系薬学 I 生命体の成り立ち	著者 日本薬学会編	出版社 東京化学同人
授業スケジュール・内容 1. 概論 2. 神経系 I 3. 神経系 II 4. 神経系 III 5. 骨格・筋肉・皮膚 6. 循環器系 I 7. 循環器系 II 8. 呼吸器系 9. 消化器 I 10. 消化器 II 11. 泌尿器系 12. 生殖器系 13. 内分泌系 14. 感覚器系 15. 血液・造血器系		
各臓器の名称、形態、位置および役割分担 中枢神経系の構成と機能 体性神経系の構成と機能 自律神経系の構成と機能 骨、関節および骨格筋の名称と位置、皮膚の機能と構造 心臓の機能と構造 血管系とリンパ系の機能と構造 肺と気管支の機能と構造 胃、小腸、大腸などの消化管の機能と構造 肝臓、膵臓、胆嚢の機能と構造 腎臓、膀胱などの泌尿器系臓器の機能と構造 精巣、卵巣、子宮などの生殖器系臓器の機能と構造 脳下垂体、甲状腺、副腎などの内分泌系臓器の機能と構造 眼、耳、鼻などの感覚器の機能と構造 骨髄、脾臓、胸腺などの血液・造血器系臓器の機能と構造		